

仕事の性質ごとに働く場所を使い分け

ノマドワーキングの強い味方 iPadが喫茶店を仕事場に変える



中谷 健一さん
トリムジャパン有限会社代表取締役。モバイルマーケティング・コンサルタント。著書に『どこでもオフィス 仕事術』（ダイヤモンド社）など。

あ

あなたが効率よく、またクリエイティブに仕事ができる環境は、本当にオフィスだろうか。「仕事は会社でやるもの」という考え方にとらわれなければ、働き方が変わり、仕事の成果も変わる。モバイルマーケティング・コンサルタントの中谷健一さんは、

仕事の9割を事務所や自宅の外で行っている。フリーランサーだからこそ、と思われがちだが、「オフィスという場所にこだわらずロケーションフリーで働くという働き方は、営業マンはじめビジネスマンにこそ実践してほしい」と中谷さんは語る。仕事の性質によってiPadをはじめとした「ツール」と「働く場所」を使い分ける中谷さんに、それぞれの「職場」

に同行しながら、ノマドワーキングについて話を伺った。

アイデアをまとめる作業は落ち着いた場所で

「熱いおしほりが気持ち切り替えてくれることもあります」。中谷さんが「職場」としてよく利用するこのお店、「おしほり」も気にいっているポイントだ。今日の仕事はルノアールから始まった。ルノアールは、東京都内を中心に100店舗を展開する落ち着いた雰囲気喫茶チェーン店である。

数ある喫茶店でもルノアールを選ぶ理由として「仕



仕事に取り組むために、まず「職場」の環境を整える。まずカバンから取り出したのが、iPhoneとドコモ（パナソニック）の携帯電話。レゴブロックで積み立てた手製のスタンドに配置することで、時間を確認しながら、電話連絡にもスムーズに対応できる

事がしやすい環境、雰囲気を店員の方が積極的に整えてくれていますからね」と中谷さんは言う。ほかにま
ず挙げられるのが、電源席（コンセントに差し込みながら仕事ができる席）を把握できていること。ノマド
ワーキングはモバイルツールありき。途中で電源が切
れてしまつては働く場所として機能しない（ルノアー
ルでは、延長コードを貸してくれる店舗もある）。
さて、静かな環境のルノオールではどのような仕事
をするのだろうか。

「主に集中してじっくり考えたい仕事です。報告書
や企画書作成などですね。いわゆる左脳系の仕事をす
ることが多いです」

ちなみに、中谷さんの中でも宮下公園店（JR渋谷
駅から徒歩3分）を利用するケースが多い。「立地が
よく、待ち合わせに便利です。この店で打ち合わせを
して、企画書をつくり、また別件で打ち合わせをして、
という使い方もよくします。あと、渋谷駅から地下が
直結しているのも、いい。雨が降った時におつくうに
ならずにすみますから（笑）」

iPhoneで撮影した画像に台形補正を加え、EvernoteにストックするアプリDocScannerを多用している。Evernoteにはほかにも、電車で移動中などその都度思いついたアイデアなどもストックされており、ルノアールなど落ち着いた場所で改めて熟考する。多様なデバイスを使いこなす人は用意しておきたいアプリ



中谷さんは、モレスキンを1年前くらいから愛用している。今はA4サイズを使うケースが多い。ノートパソコンの手前にモレスキンを配置するのが中谷流。「目の動線を上下にしたいというのと、限られた机のスペースを考えると、自然とこの配置に」。モレスキンは表紙が硬くしっかりしているので、この配置が可能である



正面から見るとさながらオフィスのようだ。アップル社純正のカバーはスタンド代わりに也成了り重宝する



左脳系 職場選びのPoint

- ＊インターネット環境が充実している（Wi-Fiのモバイルポイント）
- ＊電源を差し込みながら仕事できる席がある
- ＊おしぼりやお茶が出る、座席の座り心地がよいなど、落ち着ける雰囲気がある



iPadでインターネットを閲覧する際に重宝しているのが「Xmarks」だ。ブックマークを様々なデバイスでシンクできる

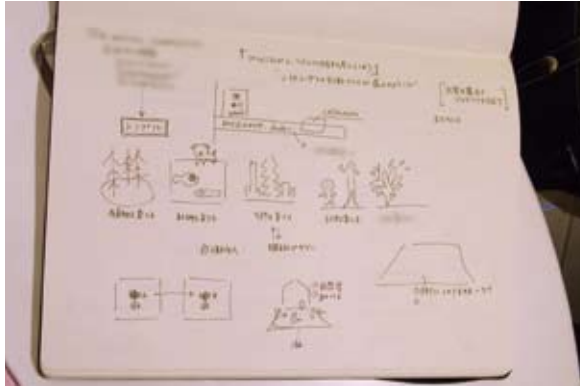
そうした快適な「職場」で、仕事中は次々とツールが登場する。企画書作成の際には、さまざまな資料を見ながら作業することが多いだろうが、その際に有効なのがiPadである。ノートパソコンの横に置いて、サブスクリーンとして機能する。このiPadは、Webページを閲覧するだけでなく、愛用のモレスキン（後述）に手書きした企画メモなどを表示させることも多い。中谷さんは、こうしたメモをiPhoneで撮影し、画像としてEvernoteに送信してストック。適宜、iPadで閲覧している。

アイデアを出す作業はにぎやかな場所

企画書をまとめる作業を終えた中谷さんが次によく利用するお店はマクドナルド。いろいろな人が出入りする雑然とした雰囲気の仕事をするには不向きと考える人もいるだろうが、中谷さんにとってはその客層の多様さがアイデアをひらめかせる作業に有効だという。「ドリップコーヒーのおいしさは、専門店並みですよ」と笑いながら、ハンバーガーを食べつつ、iPadで



メモを切り取ってドキュメントスキャンを行い、また戻すという作業を行っていたが、今ではiPhone、iPadの登場でそうすることも少なくなってきた



モレスキンに書かれたアイデアメモ。書く際は情報を1枚に収める点に配慮している。iPhoneで撮影、保存する際にも、1枚であることで情報の整理がしやすくなる

マクドナルド青山店における中谷さんの定位置。壁の下側にコンセントがあり、電源が確保できる。もちろんマクドナルドも無線LAN環境が整っており、その点も選択のポイントである



情報収集を開始。指一本で操作できるiPadなら、食べながらでも煩わしさが無い。

「わたしの場合、コンテンツ企画をつくる際の情報収集にもってこいの場所です。隣から聞えてくる学生同士の会話なども参考にさせてもらっています。静かな場所より、雑踏の中で歩いているときの方がふとアイデアが出てきたりしませんか。マクドナルドは、その感覚を得られるので、アイデア出しにはよく利用します」

アイデアはモレスキンにまとめていくことが多いが、その点について、「1回、すべてデジタルにしようと試みたのですが無理でした。やはり、それぞれのツールのよさがあります。キーボードでは思考のスピードについていけないときがありますし、絵を入れながら書くのはやはり手書きの方がいい」

あくまでツール先行ではなく、仕事の性格による使い分けが必要だということだ。要所でiPadをうまく取り入れている中谷さんのよう



移動中にアイデアが思いつくことも少なくない。そうした時は、忘れないうちにEvernoteのボイスメモを活用。駅構内は電車が目の前を走るので「早く帰りたい」という気持ちになり、仕事が早く終わるといふ利点も



中谷さんの著書『「どこでもオフィス」仕事術』（ダイヤモンド社）。また、公式ブログ (<http://doko-off.com/>) では、ノマドワーキングのポイントやEvernote活用など実践的な情報が紹介されている



中谷さんのカバンの中。一番手前にあるのがiPad。このカバンこそが中谷さんのオフィスである

右脳系職場選びのポイント

- ❖ 開放的で、情報が自然に入ってくる場所
- ❖ 充電ポイントと無線LAN環境をチェック
- ❖ おいしい飲み物があると、よい発想が生まれやすい

に、その使い分けを見極めることが仕事をよりクリエイティブに、そして効率的にしていける。さて、次にクライアントのオフィスに移動するために地下鉄の改札に入る中谷さんだが、ノマドワーキングはここでも継続中だ。東京都内の地下鉄駅構内は無線LANが利用できるため、電車の待ち時間は主にメールチェックなどに活用している。電車に乗ればRSSやツイッターで情報収集を行い、次の企画の構想を膨らませる。